

事務事業名	サンコーポラス旭ヶ丘住宅管理業務	事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	都市計画課	住宅建築係	連絡先	537	

計	政策番号	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	都市計画マスタープラン	#N/A			
			基本計画②	01	都市計画マスタープラン	#N/A			
			実行計画	10	公営住宅長寿命化計画	0202	人口定着への対応		

予算事業名	サンコーポラス旭ヶ丘管理費	会計コード	01	款	08	項	04	目	01	事業	03
-------	---------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 市営住宅を適切に維持管理し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。
 子育て世帯や移住希望者の受け入れ先としてサンコーポラスを活用し入居を促進する。

現状と背景
 (どうして)
 建設年度が古い住宅が多く、傷みが目立つようになっている。
 経年で劣化した箇所については、管理者が修繕・改修を行うことになっている。
 サンコーポラスの住宅使用料収入は市にとって貴重な財源であり、入居率をあげることが必要。(H30年4月時点入居率6割)

目的
 受益者
 (誰のために)
 市営住宅入居者、子育て世帯や移住希望者

対象
 対象
 (直接働きかける)
 市営住宅入居者で修繕または改修を求める世帯、子育て世帯や移住希望者

目的
 意図
 (どんな状態にしたいか)
 入居者が安心して暮らせる住宅にする。
 子育て世帯や移住希望者が住みたいと思えるような住宅にする。

手段・方法
 (どうやって)
 修繕または改修を求める世帯について、現状を確認し対応する。
 市営住宅長寿命化計画により、計画的に市営住宅の改修を行っていく。
 子育て世帯や移住希望者のニーズに沿った修繕・改修を実施。

A	N	評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
				1	サンコーポラス旭ヶ丘の修繕	修繕・改修率	%	修繕・改修対応件数/連絡件数×100	100
				2	サンコーポラス旭ヶ丘の改修(子育て世帯・移住向)	改修件数	件	改修件数	
				3					

A	N	評価指標の作成	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
			1	緊急的な修繕箇所をゼロにする	要望及び修繕改修件数	件	修繕予定件数-対応件数	
			2	サンコーポラス旭ヶ丘の入居促進	入居戸数	戸	サンコーポラス旭ヶ丘入居戸数	80

実	施	状	内	訳	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
					事業費等(a)	円	9,103,386	6,732,000					
					国庫支出金	円							
					県支出金	円							
					地方債	円							
					その他特定財源	円	9,103,386	6,732,000					
					一般財源	円							
					活動指標	修繕・改修率	目標	%	100	100			
							実績	%	100				
							達成率	%	100.00	-	-	-	-
					活動指標	改修件数	目標	件					
							実績	件					
							達成率	%	-	-	-	-	-
					活動指標	-	目標	件					
							実績	件					
達成率	%	-	-	-			-	-					
D	O	成果指標	要望及び修繕改修件数	目標	件	10	10						
				実績	件								
				達成率	%	-	-	-	-	-			
			入居戸数	目標	戸	80	80						
				実績	戸	52							
達成率	%	65.00	-	-	-	-							
備考	茅野市住生活基本計画の4-1適正な市営住宅の運営に関わる事業												

事務事業名	サンコーポラス旭ヶ丘住宅管理業務	事業期間	~	年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	都市計画課	住宅建築係	連絡先	537	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性	成果			
		コスト			

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 課長評価日	～成果 変果 動指 要標 因分 ～析	入退去数ともに増えており、前年同期比1戸減。退去理由は主に新築・中古戸建購入や家族構成の変化による退去。移住による入居希望問い合わせが少しづつ出てきている。			
	総合評価	移住でコーポラスに一定期間住んだ後、市内に戸建を購入し定住する事例が出てきており、人口定着への寄与が見られる。軽微な改修要望については迅速な対応を心掛け、お待たせしない対応により入居者の満足度向上に努めた。			
	課題	築20年以上経過しており、各所傷みが目立つようになっている。今後も住みたいと思える住宅にするため修繕要望等必要な間取りを実施、計画的かつ効果的な修繕が必要である。また、関係課との情報連携による移住促進が必要である。			
改革・改善の方向性(ACIT)	翌々年度方向性	拡充 拡大			
	改革の方向性の内容	退去者に対して旭ヶ丘団地の改善点の間取りを実施し取りまとめた上で修繕計画に盛り込む。軽微な修繕については迅速に対応し、入居者の満足度向上を目指す。 子育て世帯や移住希望者が住みたくなる住宅にするため、関係課と連携して間取りなど必要な改修を進めていく。→工事請負費の増			

作成担当者	土岐 篤広				
最終評価責任者	岩崎 研二				
最終評価年月日	2019.5.17				